# 安全データーシート（SDS）

作成･改訂 2024 年 4 月 16 日

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称　:クイック染料系 緑色インク
QI-37 ： クイック染料系 緑色インク(10ml)
QI-34 ： クイック染料系 緑色インク(50ml)
会社名　:サンビー株式会社
住所　:大阪市天王寺区石ヶ辻町 13-10
担当部署　:生産本部
電話番号　:06-6743-1620
FAX 番号　:06-6743-1612
推奨用途及び使用上の制限:スタンプインク
整理番号　:QI-C091021-D4

## 2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

| | | |
|---|---|---|
| 物理化学的危険性 | :火薬類 | 分類対象外 |
| | :可燃性／引火性ガス | 分類対象外 |
| | :可燃性／引火性エアゾール | 分類対象外 |
| | :支燃性／酸化性ガス | 分類対象外 |
| | :高圧ガス | 分類対象外 |
| | :引火性液体 | 区分外 |
| | :可燃性固体 | 分類対象外 |
| | :自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| | :自然発火性液体 | 区分外 |
| | :自然発火性固体 | 分類対象外 |
| | :自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | :水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| | :酸化性液体 | 分類対象外 |
| | :酸化性固体 | 分類対象外 |
| | :有機過酸化物 | 分類対象外 |
| | :金属腐食性物質 | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | :急性毒性(経口) | 区分4 |
| | :急性毒性(経皮) | 分類できない |
| | :急性毒性(吸入:気体) | 区分外 |
| | :急性毒性(吸入:蒸気) | 分類できない |
| | :急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) | 分類できない |
| | :皮膚腐食性/刺激性 | 区分3 |
| | :眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | 分類できない |
| | :呼吸器感作性 | 分類できない |
| | :皮膚感作性 | 分類できない |
| | :生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | :発がん性 | 分類できない |
| | :生殖毒性 | 分類できない |
| | :標的臓器／全身毒性(単回暴露) | 分類できない |
| | :標的臓器／全身毒性(反復暴露) | 分類できない |
| | :吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | :水生環境有害性(急性) | 分類できない |
| | :水生環境有害性(慢性) | 分類できない |

【GHS ラベル要素】

絵表示　:
注意喚起語　:警告
危険有害情報　:飲み込むと有害
軽度の皮膚刺激
注意書き　:【安全対策】
取扱う前に「安全データーシート」をよくお読みのうえ作業してください。
取り扱いは火気がなく、換気の良いところで行ってください。
有機溶剤用マスク、手袋、エプロン、ゴーグル等を着用する。
漏出に注意し、容器等の蓋はこまめに閉める。
容器からこぼれた場合にはウエスで拭き取る。
火災時には炭酸ガス、粉末消火器を用いてください。
【救急処置】
目に入った場合は直ちに水で15分以上洗浄し、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合は石鹸で洗い大量の水で洗う。
痛みがある場合は医師の手当てを受ける。
通常は吸入の危険性はないが、高温下で蒸気を吸入した場合は患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合は大量の水を飲ませ直ちに医師の手当てを受ける。
意識がない場合は無理に吐き出させない。
【保管】
容器は密閉し、高温を避け保管する。火気厳禁
【廃棄】
製品の廃棄には法令に従ってください。
国・地域　:消防法危険物質第4類第4石油類

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物　:混合物
一般名　:商品名と同じ
成分及び濃度

| 成分名 | 濃度(%) | CAS No. | 化審法 | PRTR 法 | 労安衛法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 油溶性染料 | *2.0 - 4.0* | 登録済み | 登録済み | 該当せず | 該当せず |
| クロム及びその化合物 | *1.0* 以下 | 39609-24-1 | 5-4013 | 第 1 種 63 | 142 |
| 銅及びその化合物 | *1.5 - 2.5* | 73018-43-6 | 5-3127 | 該当せず | 379 |
| 合成樹脂 | *15 - 25* | 登録済み | 登録済み | 該当せず | 該当せず |
| ポリアルキレングリコールエーテル | *30 – 40* | 登録済み | 登録済み | 該当せず | 該当せず |
| ポリアルキレングリコール | *30 – 40* | 登録済み | 登録済み | 該当せず | 該当せず |
| 合計 | *100* | | | | |

## 4. 応急処置

吸入した場合　:ただちに新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じ医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合　:大量の水及び石鹸で洗い落とす。
水痘痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じ医師の診断を受ける。
眼に入った場合　:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。医師の手当、診断を受けること。
飲み込んだ場合　:水でよく口の中を洗浄する。医師の手当、診断を受けること。

## 5. 火災時の処置

消火剤　:泡、粉末、二酸化炭素が有効である。
使ってはならない消火剤　:棒状の水。

火災時特有の危険有害性　:火災によっては、刺激性、毒性のガスを発生させる恐れがある。
特有の消火方法　:消火作業は風上から行う。周辺の設備に散水して冷却する。
消火を行う者の保護　:適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置　:屋内の場合処理が終わるまで必要に応じ換気を行う。
漏出した場合は周囲にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
こぼれた場所は滑りやすいので注意する。作業に際しては適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
環境に対する注意事項　:流出した製品が河川等に排出しないように注意する。
回収・中和　:漏れを止める。
(封じ込め、浄化の方法・機材)　:少量の場合は、吸収剤(おがくず・土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾でよく拭き取る。
大量の場合は、土砂など(の不燃物)で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。
二次災害防止策　:すべての発火源を速やかに取り除く。(近傍での喫煙、花火や火炎の禁止) 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項
技術的対策　:[8. 暴露防止及び保護措置]に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体排気　:[8. 暴露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体排気行う。
注意事項　:漏れ、あふれ、飛散しないようにし注意する。
高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触を避ける。
安全取扱注意事項　:火気注意。接触、吸入又は飲み込まないこと。目との接触を避ける。
ミスト、蒸気を吸入しないこと。取扱い後は良く手を洗うこと。
接触回避　:[10. 安定性及び反応性]を参照。
保管上の注意事項
技術的対策　:保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質　:[10. 安定性及び反応性]を参照。
保管条件　:強酸化剤から離して保管すること。換気の良い場所で保管すること。
容器梱包材料　:金属製の石油缶やポリエチレン、ポリプロピレン製容器。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度　:データーなし
許容濃度　:データーなし
設備対策　:発生源を密封するか、局所排気装置を使用する。
保護具
呼吸器の保護具　:大量に取り扱う場合に必要に応じ着用する。
手の保護具　:同上
眼の保護具　:同上
皮膚及び身体の保護具　:同上
衛生対策　:取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観　:液体
色　:インク色
臭い　:微臭
pH　:データーなし
沸点　:未計測
引火点　:*215* ℃
発火点　:データーなし

比重　　:未計測
溶解度　　:水に不溶。アルコール系溶剤に易溶。

## 10. 安定性及び反応性

安定性　　:高温、高圧を加えない一般的状態では安定である。
危険有害反応可能性　　:高温、高圧を加えない一般的状態では安定である。
避けるべき条件　　:高温、高圧で長期間保存しない。
混触危険物質　　:強酸、強塩基、酸化剤

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)　　:LD50=*500-2000* mg/kg(ラット)(区分4)　(類似品)
慢性毒性　　:データーなし (分類できない)
皮膚腐食性／刺激性　　:マイルド(ラビット)(区分4)　(類似品)
局所効果(目、皮膚)　　:軽度～中度の刺激性有り
呼吸器感作性　　:データーなし (分類できない)
皮膚感作性　　:データーなし (分類できない)
変異原性(微生物・染色体異常)　　:データー不足で分類できない
発がん性　　:データーなし (分類できない)
生殖毒性　　:データーなし (分類できない)
特定標的臓器／全身毒性一単回暴露　　:データーなし (分類できない)
特定標的臓器／全身毒性一反復暴露　　:データーなし (分類できない)
吸引性呼吸器有害性　　:データー不足で分類できない
その他　　:

## 12. 環境影響情報

生態毒性　　:知見なし
残留性・分解性　　:知見なし
生体蓄積性　　:知見なし
土壌中の移動性　　:知見なし
オゾン層有害性　　:分類できない

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　　:都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。
この物質が河川、湖沼、海域、下水等に排出されないように充分に注意する。
汚染容器・梱包　　:空容器を廃棄する場合は、内容物をできるだけ除去後、都道府県
知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。

## 14. 運送上の注意

国際規制　　:分類基準に該当しない
　国連分類　　:非該当
　国連番号　　:非該当
国内規制
　陸上輸送　　:消防法の基準に従い積載・運搬を行う。
輸送の特定の安全対策及び条件　　:運搬に際しては容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

消防法　　:危険物第4類第4石油類に準じる
労働安全衛生法　　:クロム及びその化合物、銅及びその化合物
特定化学物質管理促進法（PRTR 法）　　:クロム及びその化合物
毒物劇物取締法　　:該当しない
船舶安全法　　:該当しない

外国為替及び外国貿易管理法　　:輸出貿易管理令別表第一の 1～15 項、別表第二に該当しない。

## 16. その他の情報

参考資料:

JIS Z 7253:2012
経済産業省 化管法 SDS 標準的な書式(JIS Z 7253 対応版)
原料メーカー情報(SDS 等)

記載内容の取扱い

本記載の内容は現時点で弊社が入手した情報等に基づき作成されたものでありますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。
本記載情報は業務上、多量インクを取り扱う際の緊急事態を想定して作成しております。一般製品として取り扱う場合は、製品同梱の取扱説明書または包装に記載されている注意事項をご確認ください。